

第23週の発生動向(2004/5/31~2004/6/6)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 ヘルパンギーナについては、増加傾向にあり、五所川原保健所管内を除くすべての地域で報告されており、今後の動向に注意が必要です。

第23週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.11		0.00	1	0.02	-2
(60) 咽頭結膜熱		0.00	17	1.70		0.00		0.00	3	0.50	5	1.25	25	0.60	+4
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.75	21	2.10	5	0.56	1	0.20	6	1.00	2	0.50	41	0.98	-21
(62) 感染性胃腸炎	37	4.63	31	3.10	2	0.22	5	1.00	25	4.17	13	3.25	113	2.69	-14
(63) 水痘	26	3.25	13	1.30	8	0.89	2	0.40	10	1.67	5	1.25	64	1.52	-19
(64) 手足口病		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.17	2	0.50	3	0.07	+2
(65) 伝染性紅斑	5	0.63		0.00	2	0.22		0.00		0.00	1	0.25	8	0.19	0
(66) 突発性発疹	3	0.38	5	0.50	6	0.67	2	0.40	4	0.67	4	1.00	24	0.57	-4
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹	1	0.13	1	0.10	1	0.11		0.00		0.00		0.00	3	0.07	0
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38	8	0.80	2	0.22		0.00	6	1.00	6	1.50	25	0.60	+14
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13	2	0.20	23	2.56	2	0.40		0.00		0.00	28	0.67	+4
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50		0.00	2	1.00	2	2.00		0.00	1	1.00	6	0.55	+2

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

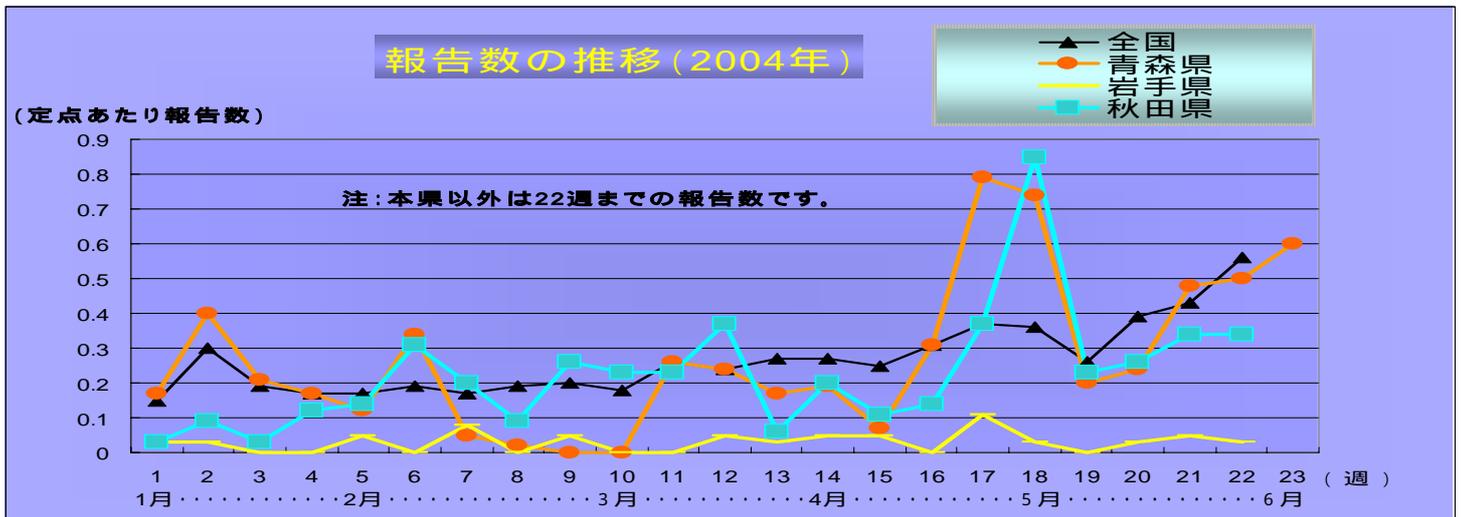
■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 4人 (16年計 49人)

感染症の窓

咽頭結膜熱



病原体 ☞ アデノウイルスです。エンベロープをもたないDNA ウイルスで血清型が51種類あり、流行を起こす型には主に3型、4型、7型などがあります。

臨床症状 ☞ 発熱、咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)、結膜炎が主症状です。

好発年齢 ☞ 学童。

好発時期 ☞ 通常、夏期に流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7月から8月にかけてピークを形成します。

発生状況 ☞ 本県における平成16年の発生状況は、4月中旬から上昇し一旦減少したが、第19週(5月上旬)から再び上昇傾向にあるため注意が必要です。

感染予防 ☞ 感染は飛沫によるものが主ですが、プールでの感染が多く見られることから、プール熱とも呼ばれており、感染予防方法としては水泳前後のシャワーやうがい、タオルを共用しないことなどが必要です。